平成　22　年　　12月　補正予算要求事業調書

1　予算要求事業の概要

No.	事業名(予算の事務事業名)	区分		
2	大宮盆栽美術館管理運営事業	新規	拡大	(継続)

会計区分	款	項	目	所管
一般	2	1	14	市民スポーツ文化局　スポーツ文化部　大宮盆栽美術館

事務事業の位置付け

しあわせ倍増プラン2009	番号		事業名	
総合振興計画新実施計画	事業コード	3403	事業名	盆栽文化振興事業
根拠法令・条例・規則等	さいたま市大宮盆栽美術館条例			

予算要求事業の概要

内容

平成22年４月８日に設置した「さいたま市大宮盆栽美術館プロジェクトチーム」において、大宮盆栽美術館の振興を図るため、次の業務を行っています。

１　大宮盆栽美術館の振興方策についての調査研究
２　大宮盆栽美術館内外の整備、広報及び観光施策についての検討
３　１周年記念特別展の開催

目的・目標

<目的>
当美術館の振興を図るため、盆栽への負担軽減に必要な添物などの購入、トイレ手洗台の自動水栓化や庭園出口の自動扉化などの来館者サービスの向上並びにミュージアムグッズの補充を行うものです。

<目標(平成22年度末)>
１　展示用の所蔵品や添え物の充実
２　館内設備や庭園の修繕
３　所蔵品の適正管理
４　ミュージアムグッズの充実

現状と課題

<現状(平成22年度末)>
１　盆栽を館内に展示することから、盆栽へのストレスが罹り、疲労から養生期間が長くなります。
２　トイレ手洗台の水栓が自動でなく、不便との要望があります。
３　庭園出口の扉が重く、高齢者などには開閉に不便をきたしております。
４　庭園などにベンチなどの休憩設備が少ないため、観覧者がゆっくり鑑賞できません。
<課題>
１　盆栽への負担軽減を図りながらも、多様な展示をする必要があります。
２　休憩設備など、来館者から要望も多く出されています。
３　グッズの販売が好調であり、品切れしたグッズを補充する必要があります。
４　盆栽文化振興や新たな観光拠点として、広く周知、広告する必要があります。

今後のスケジュール

・平成22年度　　展示用盆栽添物等の購入
　　施設や庭園の修繕
　　ミュージアムグッズの制作、販売

2　補正予算要求の理由と効果

要求理由	緊急性	盆栽を保護しながら、美術館としての展示の質の低下を防ぐことが必要であり、さらに来館者サービスの向上は、美術館の質を高めることに繋がり、１年目である本年度が重要であることから、急ぎ対応する必要があります。
	実施義務	根拠法令等
	他市の実施状況	政令市： 県内他市：
効果	対象者	来館者
	効果	展示の質を高め、来館者サービスを向上することで、美術館の評判を高めることになり、来館者増が期待できます。

3　当初予算と補正予算要求の内容

（単位：千円）

	区分	金額	備考	
平成22年度	当初予算	80,795	<積算内訳>	
	財源内訳		１　施設運営に係る経費	22,966
	①　使用料及び手数料	8,453	２　施設維持管理に係る経費	27,872
	②　財産収入	1,500	３　施設整備に係る経費	14,634
	③　繰入金	880	４　事業実施に係る経費	15,323
	④　諸収入	385		
	⑤　一般財源	69,577		
12月補正予算	補正予算要求	20,136	<積算内訳>	
	財源内訳		１　施設運営に係る経費	6,200
	①　財産収入	1,360	（１）　ミュージアムグッズの補充	
	②　一般財源	18,776	（２）　休憩用ベンチ等、鑑賞環境整備	
			２　施設維持管理に係る経費	10,636
			（１）　安全対策等庭園環境改善	
			（２）　自動ドア・自動水栓改修	
			３　事業実施に係る経費	3,300
			（１）　大宮盆栽美術館１周年記念特別展開催経費	
			（２）　企画展等、展示条件整備	
	財政局長査定	0	<査定内容>	
	財源内訳		１　施設運営に係る経費	0
	①　財産収入	0	（１）　ミュージアムグッズの補充　【流用対応】	
	②　一般財源	0	（２）　休憩用ベンチ等、鑑賞環境整備	
			２　施設維持管理に係る経費	0
			（１）　安全対策等庭園環境改善	
			（２）　自動ドア・自動水栓改修	
			３　事業実施に係る経費	0
			（１）　大宮盆栽美術館１周年記念特別展開催経費	
			（２）　企画展等、展示条件整備	
	<査定理由> 施設の破損等に伴う修繕等ではないこと、また１周年記念特別展については、開館１周年である３月28日という日付にこだわることなく、年度をまたいで10周年記念事業の第１号として実施することが最も効果的であると判断し、12月補正予算での計上を見送ることとしました。			
	市長査定	14,858	<査定内容>	
	財源内訳		１　施設運営に係る経費	2,222
	①　財産収入	482	（１）　ミュージアムグッズの補充	
	②　一般財源	14,376	（２）　休憩用ベンチ等、鑑賞環境整備	
			２　施設維持管理に係る経費	9,636
			（１）　安全対策等庭園環境改善	
			（２）　自動ドア・自動水栓改修	
			３　事業実施に係る経費	3,000
			（１）　大宮盆栽美術館１周年記念特別展開催経費	
			（２）　企画展等、展示条件整備	
	<査定理由> 大宮盆栽美術館の１周年記念における特別展の開催を行うことで、より多くの市民や観光客等の来館が見込まれること、また、鑑賞環境をより良くするために必要な備品等の経費について、来館者からの要望も多いことから、必要な経費であると判断し、12月補正予算に計上することとしました。			